

科目名		授業形態	担当教員名	
整形外科学		講義	藤 信太郎・山川 亮・見川 隆三・門脇 理貴・石川 正雄・ 峯 貴文・佐藤 伸明	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
54 時間（3 単位）		27 回	2 年次	通年
授業の目的・概要				
理学療法の対象疾患の中心をなす整形外科疾患の診断法や治療法の原則を理解できるようになることを目的とする。また、疾患における病態・症状を理解することで、整形外科疾患の理学療法との繋がりを自ら想像することができることを目的とする。				
授業の到達目標				
実践を念頭に、できるだけ整形外科臨床に即した内容を理解し、整形外科的な常識を身につけることを目標とする。				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション 序章 【藤】	15	外傷総論 【山川】	
2	診察の基本、主訴・主症状から想定すべき疾患【藤】	16	軟部組織損傷(筋・腱・靭帯損傷) 【見川】	
3	整形外科的現症の取り方とその捉え方①【藤】	17	末梢神経損傷 【山川】	
4	整形外科的現症の取り方とその捉え方②【藤】	18	骨折・脱臼① 【見川】	
5	検査(X線、MRI) 【山川】	19	骨折・脱臼② 【見川】	
6	保存療法(薬物療法、リハビリテーション) 【門脇】	20	肘関節・手関節 【山川】	
7	手術療法① 【見川】	21	膝関節 【門脇】	
8	手術療法② 【見川】	22	股関節 【山川】	
9	関節リウマチとその類縁疾患① 【山川】	23	肩関節① 【峯】	
10	関節リウマチとその類縁疾患② 【山川】	24	肩関節② 【峯】	
11	軟部組織・骨・関節の感染症 四肢循環障害と阻血壊死性疾患(骨壊死) 【見川】	25	頸椎、胸郭 【佐藤】	
		26	胸椎、腰椎 【佐藤】	
12	先天性骨系統疾患、代謝性骨疾患 【山川】	27	足関節と足 【石川】	
13	骨腫瘍、軟部腫瘍 【山川】			
14	慢性関節疾患(OA) 【山川】			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%	講義割合から問題割合を出す。		
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載	前期末試験の再試験は実施せず、学年末との総合評価の結果で評価する。			
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
標準整形外科学 第13版	松野丈夫・中村利孝 総編	医学書院		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
自由記載				
備考				